



田園 一月号

(No.719. 2026.1.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

聖フランシスコ帰天八〇〇周年の告知

主任司祭 ドミニコ竹内正美神父



小さき兄弟会総長の兄弟マツシモ・フサレツリは、十月三日金曜日、サンタ・マリ・ア・デリ・アンジェリの教皇バジリカにおいて、聖フランシスコの帰天の前晩の祈りの終了後に、フランシスカン家族の全総長を代表して、聖フランシスコ帰天八〇〇周年（1226～2026）について正式に発表されました。

スコ自身が「被造物の賛歌」の最後の詩節に「賛美されますように、わたしの主よ、姉妹であるわたしたちの肉体の死によって、生きとし生ける者は誰ひとりとして、この姉妹から逃れることはできません」と書き記したのは、決して偶然ではありません。

これは二〇二三年から二〇二六年まで、

帰天八〇〇周年の正式な開幕は、二〇二六年一月十日に、アシジのポルチウンクラで祝われることになっています。

アシジの貧者の生涯の恵みに満ちた最晩年をたどるフランシスコ会聖年の大きな歩みの頂点となるものです。フランシスカン家族は「勅書によって裁可された会則」の認可とグレッチオにおけるクリスマス（二〇二三年）、聖痕の賜物（二〇二四年）そして「被造物の賛歌」の創作（二〇二五年）の後で、セラフィムの師父の肉体の死を祝い、追体験するこの死に関しては、聖フランシ

聖フランシスコのすべての息子たちと娘たち、あらゆる善意の人々、キリスト教共同体や世俗の共同体、若者や高齢者、健康な人や病気の人が、このフランシスコ会の大聖年に集まるよう招かれています。

各年の祝いを見てみましょう。降誕祭をグレッチオで祝うという考えがフランシス

コの頭に浮かんだのは一二三年のことでした。それは彼の生涯のうちでもっとも重要な年のひとつでした。その年の春には、フオンテ・コロンボで会則の起草の最終段階を迎えていました。フランシスコはベトレヘムの洞窟と同じようにし、更にそれに劇的要素を少し加え、洞窟内には干し草の入った飼い葉桶とロバと牛を置いたのです。

一二二四年にフランシスコはラ・ヴェルナ山で神様の望みを知ろうとして福音書を開きます。三回とも受難の個所に当たりました。六つの翼をもちながら、十字架に掛けられた姿をした者がフランシスコに現れました。

翼の二つは頭の上に、他の二つは飛ぶように広げられ、残りの二つは体を覆っていました。その姿を見てフランシスコは喜びと悲しみを同時に感じましたが、やがてフランシスコの体にキリストの十字架の傷と同じ五つの傷が、両手両足、脇腹に刻み付けられました。

「太陽の賛歌」を作られたのは一二二五年頃とされています。

教皇フランシスコはアシジの聖フランシスコが晩年に記した「太陽の賛歌」の「八世紀の間、鼓動し続けるその祈り」の中には、「被造物のあらゆる恵みを賛美する、偉大な教えがある」と述べています。

二〇二六年はアシジの聖フランシスコ帰天八〇〇周年を迎えます。アシジの聖フランシスコは私たちの教会の保護の聖人です。皆さん、一緒に取次を願ってお祈り致しますよう。



助祭叙階式のご報告 (ペトロクエン・ヴァン・ロイさん)

二〇二五年九月二十三日大聖堂にて、ベトナムから来日し、当教会で司牧のお手伝いをされている神学生、ペトロクエン・ヴァン・ロイさんの助祭叙階式がアンドレア・レンボ補佐司教様より執り行われました。



当日は、多くの司祭修道者、信徒の皆様が参列し、またロイさんの友人も多数お祝いに駆けつけました。来日して間もない中、ロイさんは緊張の面持ちではありましたが、

厳かに助祭叙階の祝福に預かり、式後のパーティーでは、お祝いに駆けつけたお仲間と楽しく踊りを披露するなど、深い恵みを感謝し賛美する姿が印象的でした。



さて、そんなロイさんは、現在三十五歳。ベトナムのマニソンというカトリック人口の多い漁港の町で六人兄弟の次男として育ち、釣りや、サツカーを楽しむ少年時代を過ごしました。ベトナムで哲学と神学を学び終えて来日。教会での司牧の傍ら、日本語学校で日本語を学ぶ日々を送っています。

ロイさんの好きな聖書のみことばは、ヨハネ15章12節…わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。

皆様の暖かいご支援とお祈りを引き続き
よろしくお願い致します。



フランシスコ一粒会

敬老のつとめ

今年度の敬老のつとめは、暑さ対策の為予定を九月から変更して、十月二十六日に行われました。十一時ミサの後、ホールにて茶話が会開されました。約八十名のご参加を頂きました。

竹内神父様のお祈りとお祝いのお言葉の後、各々のテーブルにて、修道者の皆さまを交えての楽しい歓談のひとつきをお過ごし頂きました。





写真は、テーブルに飾られたお花をお持ち帰り頂く方を選ぶジャンケン大会で、今年も金神父様が、にぎやかに行って下さいました。

ガールスカウトから、教会のお花を押し花にして作った葉のプレゼント、また、聖歌隊有志の皆さまと全員で聖歌を歌いました。

田園調布教会共同体として、今まで多くのことをお教え下さり、ご尽力された先輩の皆様、ますますのご健康とご活躍をお祈りして、感謝のうちに、和やかな会となりました。

教会委員会 T・M

世田谷南宣教協力体 合同堅信式

十月十二日(日)前日の冷たい雨とは打って変わり日差しの届く秋らしい陽気の中、上野毛教会にてアンドレア・レンボ補佐司教様司式のもと、世田谷南宣教協力体合同堅信式が行われました。

上野毛教会十三名、碑文谷教会三名、田園調布教会一名、合計十七名の方が堅信を受けられました。

受堅者の額に聖香油が注がれ、魂に「消えない聖霊のしるし」が刻印されたその瞬間に共同体の一員として立ち会うことができ、私自身にも新しい力が注がれたことを実感することができました。

「一人一人が置かれた場所で小さなとしびとなって働いていきましょう」とおっしゃっていた補佐司教様のお言葉が印象に残る温かく喜びに満ちたご聖堂は、閉祭の

歌「希望の巡礼者」の音色が力強く響き渡り、共に喜びを分かち合う人々で感動的な式となりました。

教会委員会 T・H



「神様の愛と恵みの堅信式」

フランシスカ I・Y

素朴な落ち着きと厳かさに包まれた上野毛教会で今回、堅信の秘跡に無事あずかることができ、心より感謝申し上げます。

定期試験の直前で、心身ともに非常にピリピリした時期でしたが、神父様のお話やお式がすべて楽しく、神様の豊かなお恵みを感じる充実のひとときでした。

学校の宗教の先生（部活の顧問）が私の代母となってくださいました。信仰に生きる真摯な一面を拝見できたことも、大きな喜びです。正直なところ、当初は「せめて定期試験が終わってからであれば」と思っておりまして。しかし、この試験の時期だからこそ多くのお恵みをいただけたと、今は感謝しております。

温かな式になるよう細やかに心を砕いてくださった教会委員の皆さま、導きを示し

てくださった代母の先生、そして全てのお恵みを与えてくださる神様へ深く感謝します。

この堅信の恵みを糧に信仰をさらに強めてゆけますよう、どうか暖かくお見守りください。



七五三（二〇二五年）

十一月十六日の九時ミサの中で、七五三の祝福が行われました。



今年は七人のお子様の申し込みがありましたが、当日お一人が体調不良で参加出来ず、六人のお子様が竹内神父様に祝福して



頂き、千歳飴と不思議のメダイ、お祈りのカードを頂きました。教会の皆さまからも大きな拍手でお祝いして頂きました。

教会委員会



バザー開催

典礼暦の締めくくりとなる王であるキリストの祭日となる十一月二十三日にバザーが開催されました。

今年のテーマは「輪を広げて、支えよう」として、昨年同様、地区集会、活動会、委員会・部会なども中心に、出店を希望するグループ、信徒の方々が主体的に準備を進め、店を出す形をとりました。この形も定着しつつあり、三十二の出店があり、より多くの信徒の方々が関わるバザーになったものと思います。



前日は、テーブルの配置、テントの設営などの力仕事から、各お店の準備など、多くの信徒の方々が力を合わせ、準備を行いました。



当日も、朝早くからの開店に多くのご来場の方々があり、活気のあるバザーとなりました。また、駐車場、巡回、会計、医療など、運営を支える信徒の方々にも尽力いただきました。

一方で、出店される方々が固定化されてきたことに課題を感じる声も聞かれました。来年以降、より多くの信徒が参加し、交流を深められるよう、さらに進化させた新しい試みに取り組んでいきたいと考えます。



信徒の絆を深め、教会のつながりを強める活動が続くよう、お祈りください。

バザー委員会

俳句

秋日濃し影疾く伸ぶる谷戸の道

死者の日や「また会ふ日まで」口ずさみ

カキフライ有りますの文字屋の街

ヨゼフ K・A



朝ミサに開く大扉や初詣

初蝶の触れゆくものの輝けり

書初めやをさなの筆のためらはず

エリザベート S・C

初富士や卒寿の一步踏み出して

連山のかなたに凜と雪の富士

みどり児の初めての靴春を待つ

マリア セシリア I・K

宮水井と蔵の扉や松納

春を待つ四囲に枝張る大櫓

如月や青きリボンのポニーテール

マグダレナ・マリア・ソフィア O・H

※今後の俳句の提出期限は
三月十日（四月号）です。
提出先…受付脇「田園」引き出

図書室よりお知らせ

図書室は、第一、第二、第三日曜日九時から十三時まで開いておりますので、どうぞご利用下さい。

また、お手伝いしてくださる方を募集しております。受付か図書係までご連絡ください。

図書係 I・J

【新着図書のお知らせ】

◎7歳からの聖書 齋藤 孝

◎こどものせいしよ ライニルケンス編

◎生きるためのひとこと 晴佐久昌英

◎教皇フランシスコ 田中裕子

◎大木神父奮闘記 大木章次朗



◎ピューリタン 大木秀夫

◎外尾悦郎ガウディに挑む 星野真澄

◎うさぎになった

文・村中季李衣
絵・しらとあきこ

ラムズヴォイス

コンサート報告

十月五日ラムズヴォイスフランシスコ祭コンサートに多くの方にご来場頂き、誠にありがとうございました。

皆様からのご献金は全額カリタスジャパンを通して能登半島被災地に寄付させていただきました。心よりお礼申し上げます。



不思議のメダイ聖母聖堂

「パリ、京都、いけずな町だけと…」

写真・文 柳沢 洋子

パリにいらしたことがある方も、京都にいらしたことがある方もあるかと思いますが、どちらにも共通しているのは、歴史の長い都市であること、町の中心に川が流れていること（セーヌ川、鴨川）、沢山の神社仏閣（教会）、観光で訪れるところが沢山あること等。

もっと詳しく知りたいと思うものの、こちらの町も歴史がミルフィーユのように重なっていて、特に京都の場合、私には、お寺の宗派の違い、神仏習合などがどうしてもすつきり理解できず、勉強不足を感じます。よって基礎知識のなっていない私にとって分かりやすいのは禅寺の庭でしょうか。

禅寺の静かな庭に面して座ると、庭が静かな鏡になって黙想でき、仏様ならぬキリストの教えを噛みしめていることがあります。

す。多くの外人観光客も何の説明も知識も無しに鑑賞できて、皆同じ気持ちになれるのか、皆、静かに庭を見て座っています。

今回ご紹介するのは、多くの方がご存じだとは思いますが不思議のメダイ聖母聖堂です。パリの街中、それも世界最古のデパートと呼ばれるボン・マルシェ百貨店の食料品館のすぐ隣、日本で言ったら、銀座三越の裏、と言った感じのところにあります。



【 聖堂の入口 】

聖堂の入口は大きな扉（写真）の中の通路を進んだところにあるのですが、扉は朝八時前からお昼まで開き、その後、一度閉まってから三時前に開きます。大きな表示は無いので、閉まっている時に通りかかると中に教会があるとは気づかない人も多いようです。



【 2階席からの俯瞰 】

しかし朝も午後も開門の時間前には平日でも熱心な人々が花を抱えたりして待っていますから、分かるかも知れません。最近のフランスでは、有名な教会以外は祈っている人も少なく閑散としていることも多い

のですが、この教会は毎日、ミサ時間以外でも沢山の人が祈っています。

何故この教会に沢山の人が集まるのか？
一八三〇年にシスター・カタリナがこの聖堂で三度、マリア様のご出現を経験し、マリア様の示された通りのメダイ（写真）を作り、一八三二年のコレラ大流行の際に配布した所、多くの人が癒しを受けたことから、皆が「不思議のメダイ」と呼ぶようになります。絶大な信頼を得ているのです。

そして祭壇正面右側にはシスター・カタリナの御遺体が腐敗せずにガラス箱の中で眠っていらっしやいます。（ベルナデッタ様同様、表面に特殊加工されてしまっているとは言え！）

私事ながら、私の洗礼名はカタリナ、両親がよく確認もしていなかったので、シエナのカタリナかパリのカタリナかは分かりません。洗礼日がシエナのカタリナ、誕生

日がパリのカタリナ、どちらも自分の守護聖人だと思っています。

聖堂を出た通路のショップではメダイを購入することもできます。教会を出て右側に行くトボン・マルシェ百貨店の食料品館に入れて、世俗まみれの天国です。



【 不思議のメダイ（表） 】

本当は二つの町の共通点に、副題に入れた「いけずな」があります。旅行者として訪れた際に、どちらの町も時として、人が冷たい、人が意地悪、と思う瞬間がありました。と過去形で言うのは、今は皆、観光

客に慣れて、愛想が良くなって、旅行者として寂しい思いをすることも無くなったように思うからです。若い時に感じた「いけず」も今考えてみると、どちらの町の人々も恥ずかしがり（英語が話せない）、余計なおせっかいは焼かない（都会タイプ）だからだったのではないかと。



【 不思議のメダイ（裏） 】

パリで働いていた、つまり生活者となつた時に、困った、と言えば、見知らぬ人でも必ず手を貸してくれました。たまには「いけずな口」を聞くこともあります。今は、だからこの町が好きなんだな、と思うようになりました。

<信徒連絡会> 2025年10月～12月

※文中敬称略

行事・予定

10月 3日(金)	聖フランシスコ帰天祭 (トランジトゥス)
10月 5日(日)	聖フランシスコ祭 教会委員会
10月12日(日)	信徒連絡会 世田谷南宣教協力体合同堅信式 (上野毛教会) 14時
10月26日(日)	敬老の集い (9/14から後ろ倒し)
11月 2日(日)	教会委員会
11月 9日(日)	信徒連絡会
11月16日(日)	七五三ミサ
11月23日(日)	王であるキリスト バザー
11月30日(日)	教会委員会
12月 7日(日)	信徒連絡会
12月14日(日)	喜びの主日 待降節黙想会
12月21日(日)	窓ふき・お掃除
12月24日(日)	主の降誕 (夜半のミサ)
1月 1日(木)	元旦ミサ 新年会
1月10日(土)	教会委員会 新旧委員懇親会
1月11日(日)	二十歳の集いミサ・教会委員任命式
1月18日(日)	信徒連絡会、こども餅つき大会
1月25日(日)	田園調布地域諸教会合同祈祷会 (14時より)
1月28日(水)	地区集会新旧引継ぎ会

各会報告など

典礼委員会

10月

- 1) 今年2025年は聖年にあたることから、5月のマリア様の月にミサ前のロザリオの祈りを実施いたしましたが、フランシスコの月である10月にも実施します。

11月

- 1) 典礼委員会有志で2年ぶりにバザーに出店します。場所は聖堂ホールで、クリアファイル、シルバーアクセサリ、古着他を販売する予定です。

12月

- 1) 典礼委員会では、大聖堂に11月29日にアドベントクランツを設置、また12月13日にプレセピオを設置する予定です。大雨で鐘楼内の物置に浸水してしまい、馬小屋の材料も濡れてしまったため、ことしは馬小屋なしのプレセピオになる予定です。また、2026年からの実施を目指し、新しいミサの讃歌C（現在歌っているのはA）の練習を、12月21日、28日の9時ミサ後に実施いたします。12月20日には侍者研修会を実施いたします。

財務財政委員会

10月

- 1) 来年度に向けた予算説明会を10月下旬～11月上旬の間に実施いたします。各委員会及び活動会の会計担当の方の参加をお願いいたします。

11月

- 1) 各活動会の来年度予算申請日と今年度決算報告日の日程を以下の通りといたしました。

来年度予算申請日：11月9日（日） 原則メールにて山田財務副委員長まで報告。メールが不可の場合は、申請用紙A&Bに記載し、13時迄に財務室へ。

今年度決算報告日：12月7日（日）10：00～12：30 印刷室にて。帳簿、領収書、残金、予算使用状況表を持参下さい。

尚、来年度予算について、現在の財務状況を鑑み、今年度予算額より削減した額で申請して頂くようお願いいたします。削減目標は1割といたします。また、予算化していないものについては、原則支払いは出来ませんので、本当に必要なものについて予算化をお願いいたします。

12月

- 1) 先週のバザーでは、去年よりも多い献金をいただき、誠にありがとうございます。バザーの献金については全額、この教会の為に大切に使用させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- 2) 12月7日（日）を各活動会の決算日といたします。当日の午前中から昼頃まで、印刷室をその決算の為に使用いたしますので、コピー機等のご使用は極力ご遠慮いただきますようお願いいたします。

福音宣教委員会

10月

- 1) フランシスコ祭作品展：今年も、フランシスコ祭10月5日（日）の前後2週間に作品展示を実施しました。

- 展示期間（信徒会館1・2F）9月28日（日）～10月11日（土）

11月

- 1) バザーにて、環境部会と共同で「教会の花のカレンダー」をご提供することになりました。各月々の大変美しい写真集となっており、実物を教会の庭で探す楽しみもあります。どうぞお楽しみに。
- 2) ホワイエの受付：信徒が具合が悪くなった際の医療従事者の方々のご協力をもとめています。

12月

- 1) 今年もクリスマスカードの作成・配布を予定しております。

福祉委員会

10月

- 1) 9月28日の野菜販売、釜石地区の仮設住宅にお住まいの方々による手作りを販売している「岩手犬プロジェクト」にご来場いただいた方々、また、お手伝いをして下さった皆様、ありがとうございました。
- 2) 10月19日12時より第一会議室において、阿部神父様からフランシスコ海外宣教委員会についてお話をいただきます。

11月

- 1) 次回の野菜販売は11月16日を予定しております。1月から、能登復興支援の乾物販売も行う予定です。みなさまのご来場をお待ちしております。
- 2) 10月19日12時より第一会議室において、阿部神父様からフランシスコ海外宣教委員会についてのお話をいただきました。当教会の愛の基金から、フィリピンのろうあ者向け奨学金(主に高校・大学)を献金させていただいていることからお時間を頂けたもので、ほぼ満席の約30名程度の方がご参加されました。
 - a) 奨学金を得て卒業された生徒が、今度は教える側として次世代の育成に貢献をしていること

- b) ろうあ者含めた全ての学生を同一に扱うとのポリシー変更の一貫として、
ろうあ者向けの奨学金の支給基準が平均 80 点以上と一般学生と同じ水準
に引き上げられた状況下、奨学金の受給者が落ち込むことなく、むしろ同
一に扱われることを前向きに捉えてイキイキと勉強に励んでいること
- c) 大学を卒業した生徒のほとんどの両親からは「奨学金がなければ子供を大
学に送ることなどできなかった」と感謝の気持ちを頂いていること
- 等、寄付金の使用使途と、活動状況について、非常に丁寧なご説明をいただき
ました。活発な質疑の後、愛の基金からの寄付金をお渡ししました。阿部神父
様からは謝意と共に、コロナ期間中に中断せざるを得なかった活動内容の紹介
を、今年度より再開していきたいとお気持ちもお話いただきました。来年
度もみなさまのご参加をお待ちしております。後日、フィリピンからお礼状を
いただきました。

12月

- 1) 11月16日の野菜販売にご来場いただきありがとうございました。今回は
リンゴ、洋梨、柿といった季節の果物に加え、白菜、ねぎ、ごぼう等の冬野
菜もお持ちいただきました。次回は1月25日を予定しております。みな
さまのご来場をお待ちしております。
- 2) 大分火災被害への支援は、今後の状況で対応を検討いたしますが、大分教区
よりのメッセージもご参照ください。

オルガン部会

11月

- 1) 『祈りとオルガン音楽のひととき～フランシスコの平和の祈りに寄せて～』
2025年10月19日(日)14時より実施いたしました。他教会からの参加
者も多くおられ200人程度の方が参加くださいました。初めての企画でした
が皆様からは参加してとても良かった、感動しました等の感想をいただきまし
た。
皆様からの献金はオルガンの維持のために活用させていただきます。
- 2) 11月23日のバザーでのミニコンサートと体験会については今年の体験会は
先着20名までといたします。

12月

- 1) 11月23日のバザーでのミニコンサートと体験会にたくさんの方にいらっ
しゃっていただき、体験会も人気でした。お子さんが多い感じでした。今後
も多くの方に興味を持っていただき、維持管理に努めていく必要性も感じま
したので、皆様のご協力や、提案などよろしくお願いいたします。

バザー委員会

10月・11月

- 1) テーマ『輪を広げて、支えよう』
6月15日(日) 公示、ポスター掲載済み
7月20日(日)～9月7日(日) 出店申込み
9月21日(日) 第1回 出店説明会(12:15～)
10月19日(日) 第2回 出店説明会(12:15～)
11月22日(土) 前日準備
11月23日(日) バザー当日

12月

- 1) 多くの方々に出店、参加いただきありがとうございました。来年度もより皆
さまのご要望に応えた形にしていきたいと思います。

環境部会

10月

- 1) 中庭の芝刈り
9月13日(土)に中庭の草刈り、芝刈りを行いました。今後も継続して中
庭の芝、草花の手入れ、整備を行っていききたいと思います。ご協力いただ
ける方がいましたら環境部会にご連絡ください。
- 2) 法面の草刈り
9月25日、29日、30日に実施いたしました。
- 3) 南側の樹木の倒木
9月12日にご近所より倒木の連絡があり、15日に撤去いたしました。

1 1 月

- 1) 落ち葉が多い季節となりました。少しでも多くの方にご協力いただけるよう、今年も11月、12月の日曜日のミサに合わせて落ち葉掃きを予定します。日時が決まりましたらお知らせいたしますので、ご協力をお願いします。
- 2) クリスマスに向け、中庭のモミの木のイルミネーションを増やしたくご協力お願いいたします。
- 3) ルルドの右の階段が滑って危ないため、プランターを置いて通れないようにします。上らずに下からお祈りください。

1 2 月

1) バザーについて

例年と同様、ポインセチア、シクラメンなど季節に合わせた花を用意いたしました。また、福音宣教委員会と共同で教会のお花のカレンダーも作成いたしました。おかげさまで、多くの方の手に取っていただき、昨年よりも多くの献金を集めることができました。ご協力くださった皆様、お店にお立ち寄りくださった皆様、ありがとうございました。

2) 中庭の芝刈り及び花壇の整備について

金神父様より、中庭の芝生をどなたかが刈ってくださったがまだらになってしまっていたので、整えて欲しいとの依頼があり、11月8日に作業いたしました。今後も定期的に芝刈りをして綺麗な庭を保っていきたいと思います。

3) また、冬から春に向けて花を楽しめるように、ルルドのマリア様像の下の土を整え、ビオラを植えました。柵がなく、踏みやすいので、付近を歩く時にはお気をつけください。

4) クリスマスの飾りについて

駐車場のゴールドクレスト（先の尖った木）にクリスマスの飾り付けを考えております。ご家庭で使わなくなったオーナメントなど、飾りに使えるものがありましたらご寄付いただけると助かります。信徒会館の受付側に献品のための箱を設置しました。

5) 落ち葉掃き

落ち葉が多い季節となりました。12月は種々行事があるため、12月毎土曜日9時半よりおこないますので、一人でも多くのご参加よろしく願いいたします。

施設管理部会

10月

- 1) 第一会議室及び花嫁控室の電源更新工事を行います

11月

- 1) 第一会議室コンセント、電気配線修理を行いました。
- 2) 信徒会館3階トイレ天井漏水修理を行います。

12月

- 1) 信徒会館3階トイレ天井漏水修理は完了いたしました。

田園

12月

- 1) 活動紹介の記事を掲載するようにします。

教会学校

12月

- 1) 12月21日9時ミサ後、クリスマス会を行う予定です。

検討事項、経過事項など

- 1) 敬老会（10／26）※暑さ対策の一環で開催は10／26（日）に延期

対象者：当日77歳～（544名）

敬老のミサ（11時ミサ）後、ホールにて茶話会を行いました。当日は雨にもかかわらず80数名の対象者が参加、修道者4名の方々も参加くださり賑やかな茶話会となった。長い時間お手伝いいただき、会場準備やお茶出しなど臨機応変にご対応くださり、ありがとうございました。来年も本年同様、一か月後ろ倒しでの開催予定とします。

- 2) 堅信式（世田谷南宣教協力体）

10月12日（日）14：00 上野毛教会にて

主司式： アンドレア・レンボ補佐司教

- 3) 七五三ミサ（11月16日9時ミサ）：7名の子ども達のお祝いをいたしました。

- 4) 忘れ物の公開： 期間 10/12～11/16 於：信徒会館2階。所有者が
名乗り出なかったものはバザー等への出品を検討しています。
- 5) 待降節黙想会： 12月14日9時より11時まで、
松井繁美神父様より、「潜伏キリシタン・ドミンゴ森松次郎について」のお話
をいただく予定です。その後分かち合いを行い、11時より松井神父様司式の
ミサを予定しております。分かち合いの間、クララ聖堂にて各個人にて黙想を
いただくこともできます。11時ミサ終了後にゆるしの秘蹟を行います。皆様
のご参加をお待ちしております。
- 6) こども餅つき大会
1月18日（日）10：15～11：30（予定）
実施：教会学校、ボーイ、ガール。近隣カトリック幼稚園へ案内もいたしまし
た。
会場拡大：光の庭に臼配置(好天の時)、餅のツキ手を募集しています。
- 7) ホール南出入口外の路面舗装修理（雨天の場合、延期）
12月13日（土）11：30くらいから作業、立ち入り禁止エリアを設定さ
せていただきます。



次号（田園4月号）は4月初旬にオフィシャルサイトに掲載予定です。

★ 田園」を紙面（印刷物）だけでご覧頂いている方へ ★
カトリック田園調布教会オフィシャルサイト <https://catholic-denenchofu.jp/>
のトップページ上部メニュー「今週のお知らせ／田園」
又は「今月の司祭の言葉／信徒連絡会・田園」などからご覧頂けます。

※トップページ右側下方「カテゴリー／田園」からもご覧いただけます。